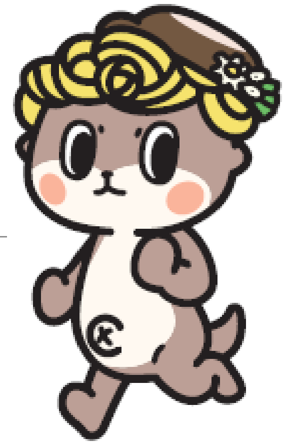
資料3

須崎市で取り組む
リエイブルメント



須崎市　基本理念

住み慣れた地域でじぶんらしい暮らしができるまち

人生の最後を迎える場所として
「いろいろなサービスを受けながら自宅で迎えたい」
（58.1%）

住民が自宅で自分らしく暮らせるサービスの提供が必要

リエイブルメントとは・・・

<u>「再び自分でできるようになる」</u>

目的を共通化

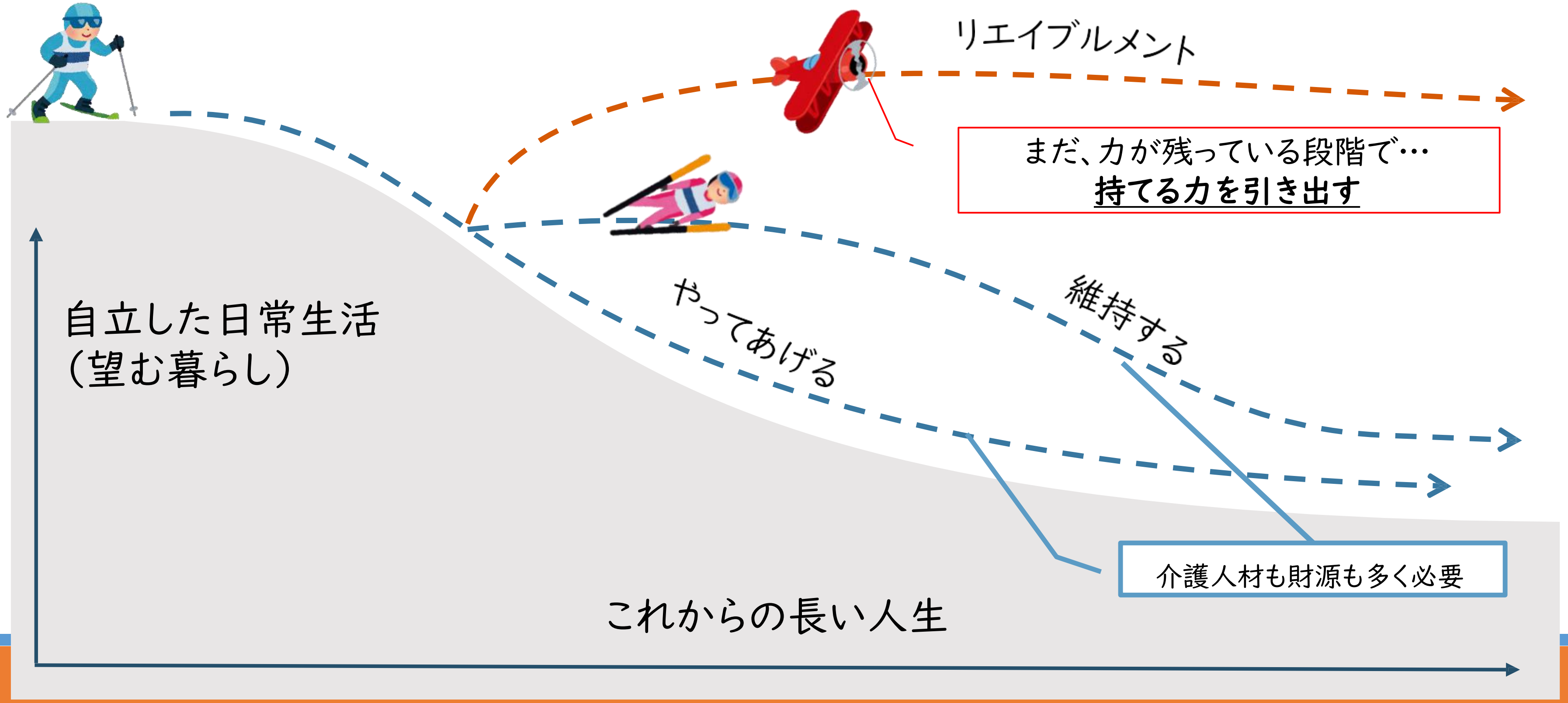
支援が必要な状態になっても、安心と希望をもち、できる限り

「望む暮らし」・「馴染みの暮らし」を送れるよう多様な主体・専門職で支える仕組み

キーワード（大事にしたいと考えた視点）は

ポイント

リエイブルメント Re-ablement<再び自分でできるようにする>



マズローの欲求5段階説

これを踏まえた
リエイブルメントを目指す

基本的な介護

https://ferret-plus.com/5369

✓承認欲求を満たすことで、自己実現の段階へステップアップできる

リエイブルメントの視点を取り組んだ事業

①地域ケア会議･地域ケア個別会議

②短期集中予防プログラム

①地域ケア会議

地域ケア会議では

・須崎市の取り組み

・リエイブルメントについての
グループワークなど

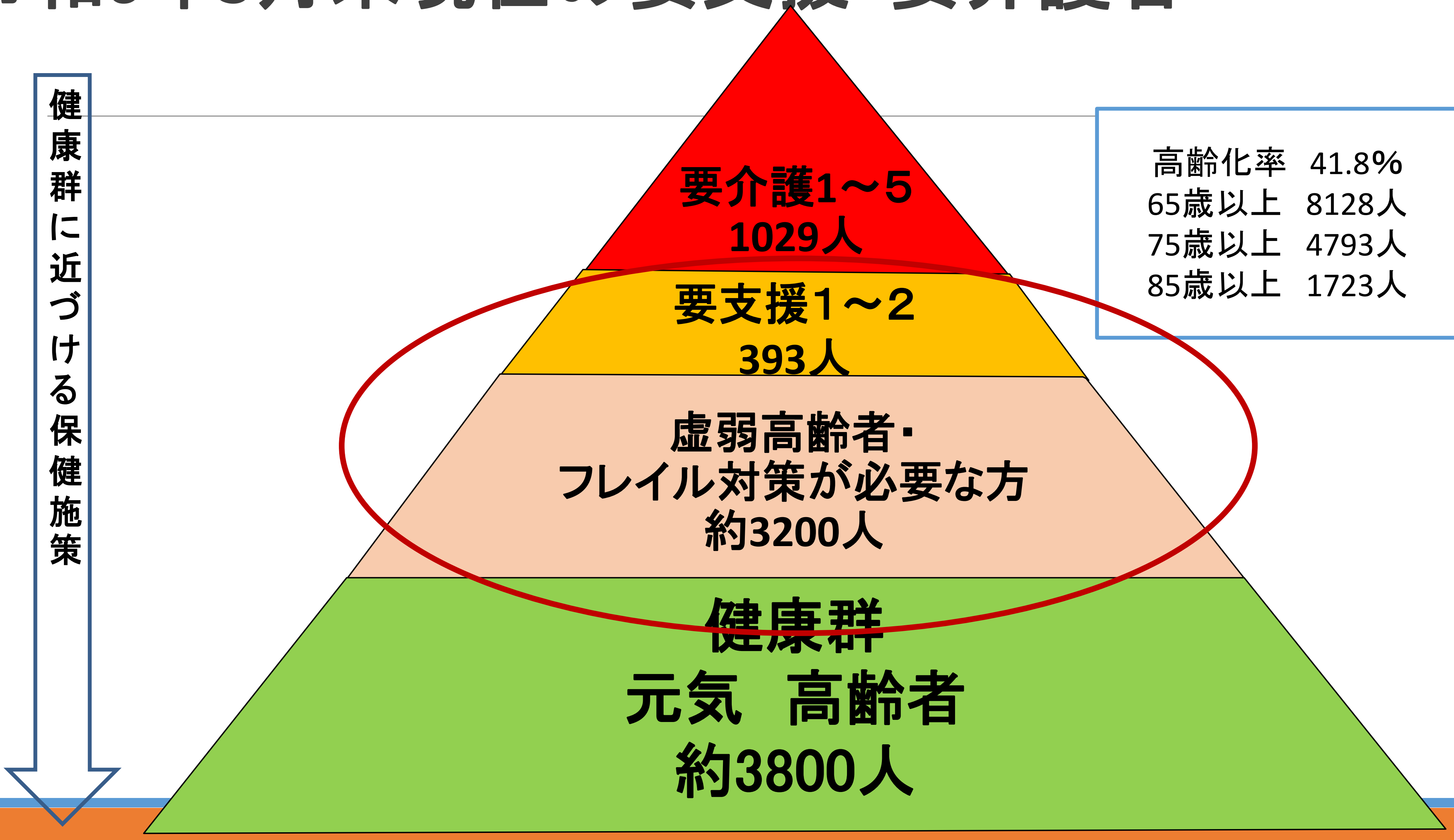
①地域ケア個別会議

目指す姿：山頂
現　状　：今いるところ
課　題　：山頂と今いるところの差（高さ、距離）
解決策：山頂までたどり着くためのルート（道すじ）、方法（徒歩、山登りの道具、車、ヘリコプター等）

②短期集中予防プログラム

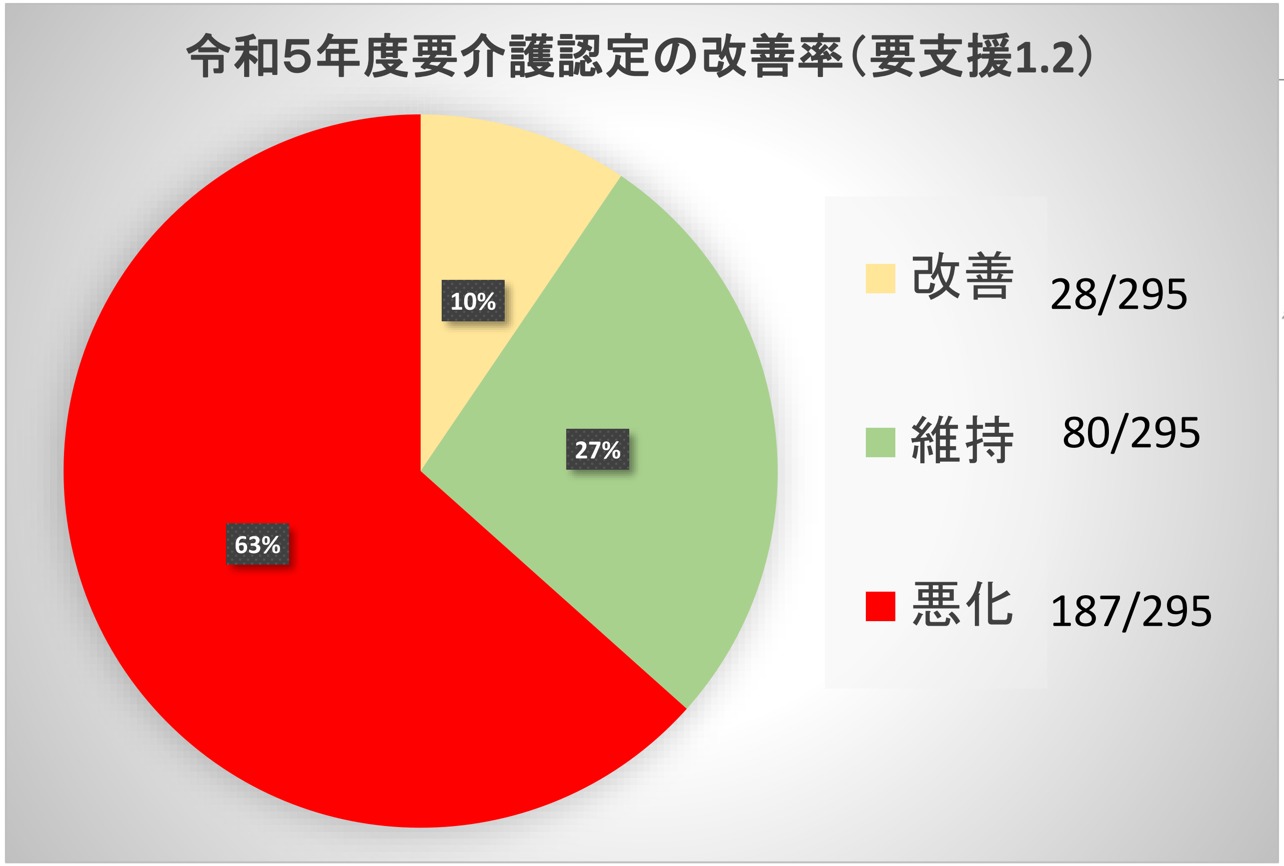
高齢になっても住み慣れた地域で可能な限り自分らしい生活を続けられるよう、一度心身機能が低下しても、元の生活に戻ることを目指すサービス

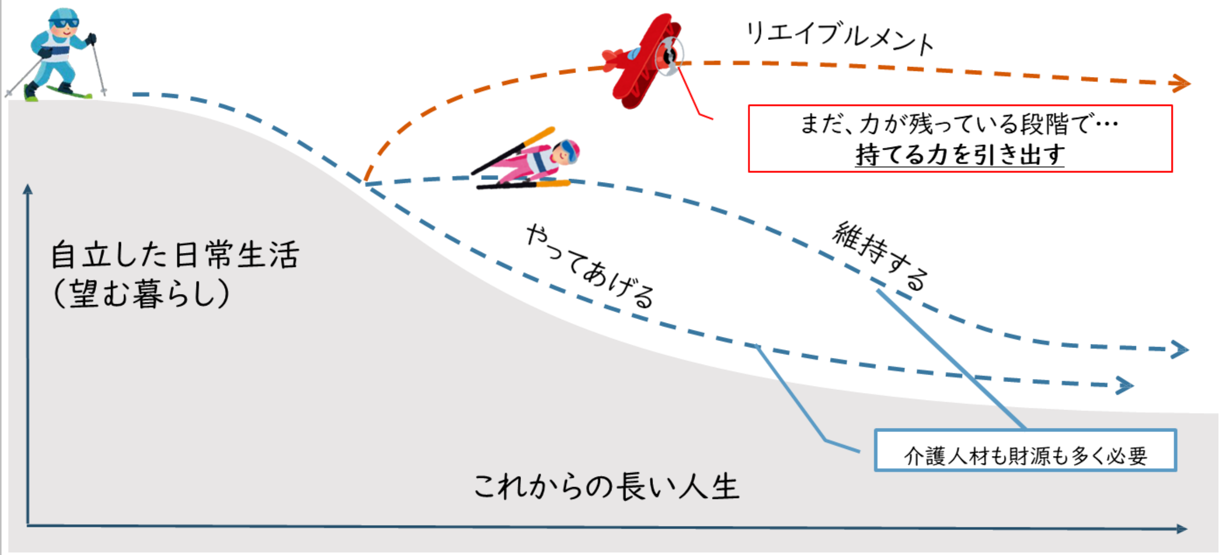
令和6年3月末現在の要支援･要介護者



高齢化率　41.8%
65歳以上　8128人
75歳以上　4793人
85歳以上　1723人

リエイブルメントの可能な高齢者の状況





介護保険の利用で介護度の改善に、90%の方は、つながっていない

短期集中予防プログラムの流れ

対象者
決定

→

同行訪問

ケアマネージャーとリハビリ専門職
同時アセスメント

↓

ケアプラン
作成・同意

→

１２回の通所プログラム開始

(週1回　3か月)

運動・口腔・栄養

終了後・・・

セルフマネジメントができる
ADL・IADLの向上

→

地域資源

- あったかふれあいセンター
- 公民館　いきいき百歳体操
- 地域のスポーツ教室

など

セルフマネジメントが難しい
支援が必要

→

公的サービス

- ヘルパー
- 通所サービス

など

利用者の感想

80代女性

始めは新しい環境や文字を書くのが苦手で、しんどかったですが、続けていくうちに、いつの間にか痛みが軽くなり、スッと座れていることに驚きました。
友人からも「痛いと言わんようになったね」と言われましたね。

リハビリをする時に、漫然とやるのではなく、「〇〇をできるようになりたい」というように目標をもってやれたのが継続できた理由だと思います。
また、スタッフさんも一緒になって、目標を考えてくれました。思いのほか元気になれて、結果には満足しています。

70代男性

ご清聴ありがとうございました